

# 平成24年度事業報告書

自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日

公益社団法人 東洋療法学校協会

## 事業の概要

本年度は、4月から公益社団法人に移行した初年度である。当協会は、あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゆうに関する教育の調査研究及び教材等の開発、教員の養成、研修等を行うことにより、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の学校（あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師等に関する法律（昭和22年法律第217号）第2条第1項の規定に基づく学校又は養成施設をいう）の教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与するために、定款に定める事業の推進と継続的發展を図り、あはき師に関する普及啓発と安全性・技能の向上に努めた。

### 1. 公益目的事業

#### 1) 学術大会の実施と学会誌の発行事業

学術大会の開催と学会誌の発行を通じて、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

##### (1) 「第34回学術大会」

開催日：平成24年10月17日（水）

開催場所：中野サンプラザ

大会テーマ：「東洋医学 人体は小宇宙」

参加者数：2,887名（参加校42校）

主管校：東洋鍼灸専門学校

教育講演：鎌田 實 諏訪中央病院名誉院長 「生きているってすばらしい」

市民公開講座：山崎 直子 元宇宙飛行士 「宇宙・人・夢をつなぐ」

(2) 研究発表論文を集約した学会誌（第36号）を4,000部発行し、会員校・関係団体に配布

#### 2) 研修会事業

研修会を開催することにより、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

(1) 教員研修会の開催を通じて、教員により広い視点からの教育方法やあはきに関する知識を習得させ、資質の向上を図るため研修会を実施した。

##### 「第36回教員研修会」

開催日：平成24年8月1日（水）～8月2日（木）

開催場所：愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）

大会テーマ：「基礎から応用へ」

参加校：46校（内非会員校2校）

参加者数：274名（内非会員校3名）

主管校：中和医療専門学校

教育講演：早川 大輔 岐阜大学大学院准教授「鍼灸師養成施設における解剖学教育について」

市民公開講座：佐藤 純 名古屋大学准教授「天気が悪いと痛むのはなぜ？」

(2) 日本理療科教員連盟と共同で教員の質向上を図る目的で、「日本鍼灸手技療法教育研究会」を開催し、研究会内容を編纂した「鍼灸手技療法教育講演会・総会報告集」第9巻を発行した。

「第10回日本鍼灸手技療法教育研究会設立10周年記念大会」

開催日：平成24年12月1日（土）

開催場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

参加者数：90名（内学校協会38名）

研究会テーマ：あはき教育を考える「教育と評価」

(3) 一般財団法人日本救急医療財団の「反復継続性のある場合のカリキュラム」に準じ、東洋療法関連施設に従事する一定頻度者を対象とした「救急蘇生講習会」を開催した。

【救急蘇生講習会（AED）】

（CPR&AEDプロパイダーコース）

※開催日：平成24年12月2日（日）

開催場所：東京医療専門学校代々木校舎

対象者：協会会員校の教職員・在校生及び準ずる者

参加者数：41名

※開催日：平成24年12月16日（日）

開催場所：森ノ宮医療学園専門学校アネックス校舎

対象者：協会会員校の教職員・在校生及び準ずる者

参加者数：9名（非会員校1名）

（CPR&AEDインストラクターリフレッシュコース）

※開催日：平成24年12月2日（日）

対象者：協会会員校協会認定インストラクター

開催場所：東京医療専門学校代々木校舎

参加者数：8名

※開催日：平成24年12月16日（日）

開催場所：森ノ宮医療学園専門学校アネックス校舎

対象者：協会会員校協会認定インストラクター

参加者数：9名

### 3) アンケートによる調査研究事業

平成24年度の入学生を対象に、「入学者の構成に関するアンケート調査」を実施し、結果を集計後参加校に配布した。今年度が10回目であるが、毎回、質問項目の見直しを行っており、今年度は「当校にどうして入学志望を決定したか」（2番目の決定理由）を増設問したが、各学校では生徒募集への取り組み方法に参考になったと思われる。

「入学者の構成に関するアンケート調査」

調査月日：平成24年5月1日現在

参加校：43校

対象者：24年度入学生

参加者数：あま指課程	257名
鍼灸課程	1,612名
あはき課程	992名

#### 4) 実技評価者の派遣事業

「はりきゅう実技評価委員会」に登録した実技評価者が、実技評価審査事業に参加を希望した学校に赴き、「実施要領」に基づき鍼灸実技教育の到達レベルを客観的かつ統一的に評価試験を実施し、実技の質の向上に努めた。

「はりきゅう実技評価審査」

参加校：21校（詳細は、会議の開催及び運営状況を参照）

評価を受けた学生数：1,322名

#### 5) 助成事業

この事業は、当協会の定款の目的に合致する他団体が実施する事業への助成を通じて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の学校の教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与することを目的とするものである。

※助成団体 「国民のための鍼灸医療推進機構」 助成金額 100万円

#### 6) 教材の調査研究事業

新しい製品や教材、書籍が発売された際に、当該製品が学校協会から見て教材、書籍として良品であり、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の学校において使用することが適切であるか検討したところ、平成24年度は下記の書籍を推薦図書とした。

※「臨床のための基礎からわかる病態生理学」

## 2. 収益事業等

### 1) 教科書等の作成及び改訂事業

#### (1) 改訂事業

##### (ア) 全面改訂

「東洋医学概論」は改訂に向け、東洋医学系教科書委員会を開催し、検討を行った。

##### (イ) 部分修正

「医療概論」「衛生学・公衆衛生学」「関係法規」「臨床医学各論」

### 2) 会員相互扶助

#### (1) 研修会事業

会員校の健全な運営に資するため、代表者等に対し、法律関係や東洋医療の現状、学校経営の在り方など、学校運営上必要とする研修会を開催した。

・企画調整部（詳細は事業部の開催及び運営状況に記載）

・法制部・倫理合同委員会（詳細は事業部の開催及び運営状況に記載）

## (2) 会報事業

当協会の運営・活動状況を、会員校に情報提供するための会報を年4回発行し、各会員校及び監督官庁並びに関係諸団体等に配布した。

・会報 第91号～94号発行

## (3) 表彰事業

(ア) 各会員校の特別に優秀な卒業生に、その努力を称えるために当協会会長から「盾」を授与した。

(イ) 学術大会での研究発表優秀者に対し、当協会会長から「表彰状」を授与した。

## 3. その他事業

1) 平成25年2月実施の第21回あはき師国家試験について、各会員校から意見を求め、国家試験検討委員会において、協議取りまとめを行い「第21回国家試験への意見」として、(公財)東洋療法研修試験財団理事長に提出した。

2) あはき師の国家試験のための模擬試験を実施することにより、試験問題の作成や勉強会等を通じて教員の資質向上及びあはき師国家試験対策として、当協会内に模擬試験検討小委員会を設置し、平成24年度初めての模擬試験トライアルを実施した。

試験実施日 平成24年11月11～25日

参加校 37校

参加人員 2,498名（アマ指 616名、はき 1,882名）

3) 各会員校とのネットワークの強化、各会員校の学生募集への寄与、あはきの普及啓発のため、ホームページの充実を図り広く一般に情報提供を行った。

4) 広報活動の一環として「会員校名簿」「会員校要覧」及び「会員校学生募集要項」等を作成し、会員校のほか行政機関、業団体並びに一般関係者に対し情報提供の資料として活用した。

5) 事業推進のため、関係行政機関との連携を密にし、(公財)東洋療法研修試験財団、あはき等法推進協議会、(社)全日本鍼灸学会、国民のための鍼灸医療推進機構、マッサージ等将来研究会等のほか教育団体及び関係団体との情報交換を密にし、相互協力・連携強化に務めた。